

令和8年度 第1回相生小学校運営協議会 会議録（要点記録）（※敬称省略）

- 1 開催日時 令和8年5月12日（火） 14時00分から15時30分
- 2 開催場所 相生小学校 多目的室
- 3 出席委員 大谷一雄、水谷加寿代、廣野篤男、原隆之、森田賢児、中川有香（学校支援コーディネーター）、川合裕美、澤柳和也、松本薫（学校支援コーディネーター）
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 神谷匠（東部協働センター）
- 6 学校関係 小林延和（校長）、岡本綾子（教頭）、前田武稔（主幹教諭）、伊藤龍彦（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 伊藤龍彦
- 9 議長の選出

司会から、会長に、議長の選出について意見を求めたところ、中川委員を推薦したため、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 学校運営の基本方針について
- (2) 夢育やらまいか事業（CS加算分）について
- (3) 学校運営協議会の自己評価について

11 会議記録

司会の前田主幹教諭から、委員総数9人のうち全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（熟議）

(1) 学校運営の基本方針について

校長より、資料に基づき、説明があり、委員からは、下記の発言があった。

- 多様性という言葉が出てきた。相生小の外国籍の子供はそんなに多くないと思っている。他の学校で多いところは、言葉の支援や生活のための支援に時間がかかると聞く。相生小はどのように対応しているのか？（森田委員）
 - ・ 相生小では、2名の外国人教科指導員がおり、20名くらいの児童を担当している。日本語が全く分からず苦勞する子もいるが、中学生の場合、江南中学に日本語の初期指導のクラスがあり、利用されている。国籍や入国の理由も多様化してきている。（校長）
 - ・ 浜松まつりのソラモのイベントで会った、外国の人は、みんな日本語が上手でした。（原委員）
 - ・ 日本の学校で外国人をどう指導するのか？難しい面もある。特に、給食は、宗教による食事制限や特定の食材の禁止があり、食べられない。（校長）
 - ・ 宗教による食事制限のある子に給食を提供することも大変である。浜松市は教育委員会が中心となり、外国人支援をしてくれている。（森田委員）
 - ・ 給食の問題は、大変だと思う。（廣野委員）
 - ・ HICE（浜松国際交流協会）で、外国人支援をしており、科学館で授業と活動をしている。（会長）
- 以前に朝早く登校する子が多いと聞いた。今はどうか？（会長）
 - ・ 早い子は、7時過ぎに学校に来る。今年度、昇降口を開ける時刻を7時40分にしたので

- 少し遅くなった。職員が対応しているが、職員の勤務時間は8時からのため、申し訳なく思っている。(校長)
- ・ 1年生の給食補助ボランティアに参加した。外国の子は、日本語を話せる子が多いけれど、食べ物は注意して対応をしている。給食補助ボランティアに参加してすごくよかった。(水谷委員)
 - ・ 残食の多さが気になっている。(中川委員)
 - ・ 昨年度、途中から栄養教諭や担任が、残食を減らすよう意識して声を掛けた。その結果、以前より残食が減った。(校長)
 - ・ 今年から、給食の無償化が始まった。(校長)
 - ・ 今年、1年保護者の給食参観を計画している。給食の量、食事の様子を見ていただく良い機会と考えている。(校長)
 - ・ 給食の残飯は、浜松市全体で年間90トンもあるといわれている。(森田委員)
 - ・ 栄養教諭中心に子供たちに伝えることが、大切である。今まで以上に、指導していく。栄養教諭が、教室を回って熱心にやってくれている。家庭科や保健の授業にも参加してくれている。(校長)
 - ・ みそ汁の具材を子供たちに説明する栄養教諭の声掛けが大変良かった。(川合委員)
 - ・ 1年生の入学前にの保護者に給食を食べてもらうことをやっている学校もある。(校長)
 - ・ 給食の無償化の話により、残食が増えることが心配。食べ物を粗末にしないように指導してほしい。(森田委員)
 - ・ 今年、1食分の給食費が上がったことで、おかずやデザートが充実した。子供たちは、よく食べている。おかずの具材が1つ増えるだけでも話題になる。(校長)
 - ・ 我が家では、子供たちが家の中で給食の話をしてくれて、親子のコミュニケーションになっている。(澤柳委員)
- 挨拶は大変良くなったと感じている。先日も横断歩道で停車したら、1年生くらいの子が、何度も頭を下げ、感謝を表してくれた。(森田委員)
- ・ 交通教室で、渡らせてもらったら、必ず、挨拶をするように指導している。中学生もよい手本となっている。小学生も習慣づけていきたい。(校長)
 - ・ 浜松まつりで関わっている子は挨拶をしてくれるが、今日、廊下であった子供で挨拶してくれたのは、5割くらいだった。(原委員)
 - ・ 今日、内科検診があり、廊下で挨拶は控えるように指導していた。今後とも時と場に応じた挨拶を心掛けるよう指導したい。(校長)
 - ・ 今日、ハロスポのボランティアに参加した元運営協議会委員の方から、活動終了時に、子供たちがボランティアにお礼を言った方がよいのではないかと提案があった。また、長年、交通安全の見守りボランティアをしている方に子供たちの登校時の挨拶について、尋ねたところ「まだまだ」との返事だった。ボランティアや旗振りの方など、お世話になっている人には、必ず、挨拶できるようにしたい。(中川委員)

熟議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 夢育やらまいか事業(CS加算分)について

教頭より資料に基づき、説明があり、委員からは特別な意見もなく、全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校運営協議会の自己評価について

会長より、資料に基づいて、令和8年度の学校運営協議会の目標について、説明があった。
特に意見もなく、全員異議なくこれを承認した。

1.3 その他の報告事項等

司会から令和8年度第2回学校運営協議会は、2026年7月30日（木）13:20～
多目的室で開催する旨の報告があった。